

令和4年度 看護の日

看護の日実行委員会リーダー 第4病棟 看護主任 棟方 衛

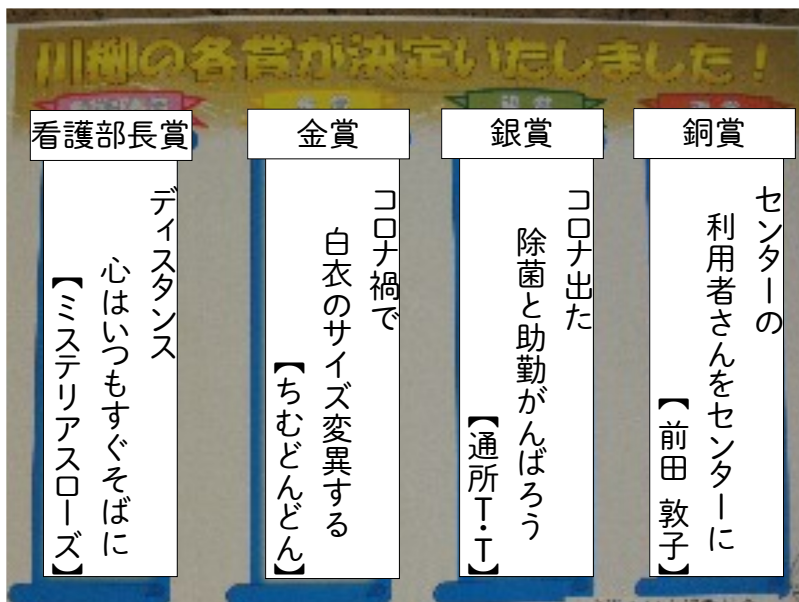
～5月12日は看護の日～

毎年この日を中心に、厚生労働省と日本看護協会は「看護の心をみんなの心に」をメインテーマとし、全国各地で健康チェックや健康相談、トークショーなど看護に関するイベントを開催しています。2020年は、現代看護の礎を築いたナイチンゲール生誕200年の年でもあり、世界的に「Nursing Now キャンペーン」が開催されています。

当センターでも看護を身近に感じていただきたい思いで、血圧測定や骨密度の測定、口腔衛生や食事の相談コーナー、手指衛生の体験コーナーなどの取り組みを行ってきました。しかし、ここ数年新型コロナウイルスの流行による感染症対策のため、直接皆様と触れ合っのイベントを行うことが困難な状況となっています。そこで、少しでも看護を身近に感じられるようにと、ささやかながら冊子を作成しました。実行委員会メンバーが中心となり、企画・構成を行いました。少しだけ紹介すると、心に残る看護エピソード、フローレンス・ナイチンゲールの功績の紹介、口腔衛生については「酸蝕歯」、役立ちそうな看護クイズ。様々な方々に手に取っていただきたく、工夫を凝らし編集に取り組みました。

そしてその中のメインイベントが「心に残る川柳」です。ご利用者、職員に「～センターにちなんだ川柳～」というお題で募集したところ、104題もの作品の応募をいただきました。そして、数々の作品の中から「お気に入りの川柳へ投票」を皆様にお願ひしたところ、200票を超える投票をしていただけました。川柳の募集、お気に入り投票という形でしたが、皆様のご参加を実感することができ、実行委員一同感激いたしております。その後、得票数による、金銀銅賞と看護部長賞を選考し、表彰式を執り行わせていただきました。受賞者の方々、改めましておめでとうございます。そして、ご応募、ご投票いただいたご利用者、職員の皆様、ありがとうございました。

現在もコロナ禍で予断を許さない状況ではありますが、ご利用者には日々元気に楽しく過ごしていただくことが、一番大切と感じています。来年こそは、ご利用者、ご家族、職員を含め、たくさんの方々との参加型のイベントでお会いできることを心から願っています。





令和3年度 東京都福祉サービス第三者評価報告



1 評価機関名 特定非営利活動法人 日本ライフサポーター協会

2 評価結果の概要

(1) 医療型障害児入所施設(旧重症心身障害児施設) 長期入所

①特に良いと思う点

- ・組織分掌・責任区分や役割を明確にし、決定事項を周知する体制を整えて、新型コロナウイルス感染症対策等で経営層がリーダーシップを発揮している。
- ・インシデントレポートを多く提出してもらうため、レポート様式を簡素化し院内メールで報告できるようにし、幹部の閲覧状況も表示している。
- ・利用者QOL活動の一つとして、センター外のレストランで外食をする機会を設け、利用者・家族から喜ばれている。

②さらなる改善が望まれる点

- ・利用者本人と家族の高齢化を踏まえて、急変時の対応や看取りについて本人、家族にとって満足のいく対応が検討されることを望みたい。
- ・施設の持つノウハウや障害医療・福祉の現状や課題を地域住民に発信し、地域との関係が一層深まるよう新たな取組みに期待したい。
- ・施設の特徴を掲げ、地域住民や利用希望者が思わず注視したくなるホームページの更新が期待される。

③センターが特に力を入れている取り組み

- ・在宅支援として、短期入所や外来診療受診を利用し易くすることに取り組んでいる。
- ・「感染制御チーム(ICT)」を設けてコロナ対策に万全を期している。
- ・職員と所属長との自己申告面談、派遣研修・院内研修を実施して、職員育成に努めている。

(2) 生活介護(主たる利用者が重症心身障害者) 通所

①特に良いと思う点

- ・組織分掌・責任区分や役割を明確にし、決定事項を周知する体制を整えて、新型コロナウイルス感染症対策等で経営層がリーダーシップを発揮している。
- ・インシデントレポートを多く提出してもらうため、レポート様式を簡素化し院内メールで報告できるようにし、幹部の閲覧状況も表示している。
- ・感染制御チーム(ICT)を新設するなど、委員会活動等により感染予防対策を強化し、利用者のコロナ感染を防止している。

②さらなる改善が望まれる点

- ・短期入所の利用率の向上、外来診療受診のしやすさ、通所の利用中止枠の活用等、在宅の重症児者向けの取組みを継続することを期待したい。
- ・施設の理念を掲げ、地域住民や利用希望者が思わず注視したくなるホームページの更新が期待される。
- ・当日の急な利用中止の場合に他の登録者が即時に通所できるよう、体制の整備に期待したい。

③センターが特に力を入れている取り組み

- ・新型コロナウイルス感染症対策(COVID-19)を徹底し、利用者・家族・職員を守っている。
- ・年2回、全職員が自己チェックリストを用いて自己の支援状況を確認している。
- ・携帯端末等を利用した連絡システムにより、通所に関わる情報を家族に提供している。



2022年 第1病棟の七夕祭り



第1病棟 生活支援科 指導員 三村 英明

2022年の七夕の日、皆さんはどのように過ごされましたでしょうか?夜空を見上げ、星空を眺めてみましたか?東大和療育センター第1病棟の利用者の皆さんも、夜外に出て星空を見上げ、天の川に向かってお願い事を…ということはなかなか難しいので、七夕の前日、7月6日にプレイルームに集まって、七夕祭り(ゲーム大会)を開催しました。

どんな様子だったかという、プレイルームの真ん中には、天の川が流れています(誰が何と言おうと天の川です)。そこには織姫と彦星のイラストが描かれたパネルが、何故かバラバラになって浮かんでいます。そこで織姫チームと彦星チームに分かれて、そのパネルを順番に釣り上げてボードに貼り イラストを完成させる、というゲームでした。

まずは各チーム1名が天の川に釣り糸を垂らし、そつと慎重に、時には大胆に、狙いを定めてパネルを釣り上げます。その後、「ここで良いのかな?」「こっちかな?」「そこじゃないよ!」と迷ったりしながら、釣り上げたパネルをボードに貼っていきます。パネルを貼ったら次の人にバトンタッチ。12枚のパネルを全部貼り終わると、織姫、彦星のイラストが完成。ようやく織姫と彦星が再会することが出来ました。久しぶりに2人が再会出来たところで、照明がOFF。すると天の川がキラキラと光り出して雰囲気を盛り上げてくれました。最後に、みんなでピアノの伴奏に合わせて「たなばたさま」を歌って、第1病棟の七夕祭りは終了しました。みんなの願いは届いたでしょうか?



♪ミニミニダンスパーティー♪【リハビリテーション科】



リハビリテーション科 理学療法士主任 小林 愛

皆さん、むっしむしの暑い日が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか?コロナ渦で大きなイベントや外出をすることは難しくなりました。しかし、その中でもどうやったら楽しく過ごせるかをリハ科でも考え、感染対策をしっかりと行った上で日常とは異なる雰囲気にしていくために、イベント風ミニミニダンスパーティーを行いました。

くるまيسダンスは、以前からリハ科のグループ活動で行っていたものの一つです。曲に合わせて、クルクル回ったり、左右に揺れたり、ピューっと早く進んだり、止まって職員が揺らす布の風を感じたり、みんなで円になったり。広いプレイルームに4人ずつの交代制。いつもと異なる場所でハワイアン衣装、司会のマイクパフォーマンスがありました。

てんきも良く、いい日差しがプレイルームに差し込んでいましたね。利用者の皆さんは、いつもと異なる場面でちょっと緊張気味になっていたり、回ると「うふっ」と笑い出したり、きりっと目が大きくなったり、マイクを向けられると嬉しそうに話す様子が見られました。また今回のメンバー以外の利用者さんも順次参加できるようにしていきたいと思います。しょくいんも、久しぶりのイベント風で楽しむことができました。ありがとうございました。うっふっふ、皆さん気付きました?左の一文字を縦にも読んでみてくださいね。





思うこと

感じること

伝えたいこと

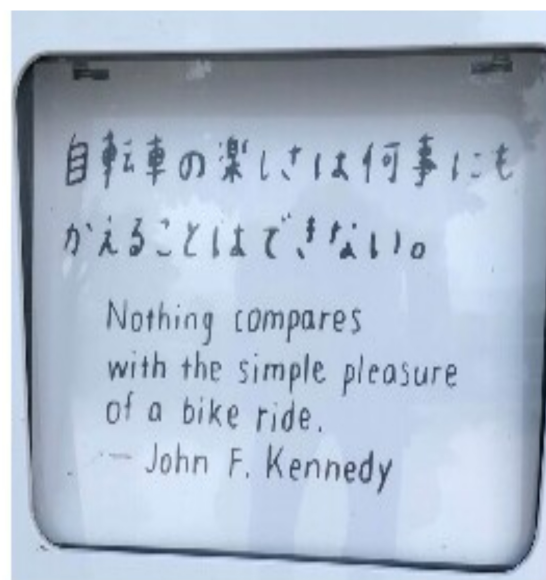
Vol. 22

「自転車の話」

第1病棟 看護師長 宮寺 健司

4年程前からロードバイクを始めました。いい歳をしてスポーツタイプの自転車に乗るって、とっても楽しくハマってしまいました。進むも止まるも休むもやめるも自分次第。今度はどこに行ってみよう、どこまで行ってみようと考えことや、自転車を自分で整備することも楽しいですが、普段車で通り慣れた道での新しい発見やまったく知らない土地や見たことなかった風景など、刺激と達成感が得られます。かすイチ(霞ヶ浦一周)、ふじイチ(富士山一周)、わんイチ(東京湾一周)、いずイチ(伊豆半島一周)など、チャレンジしたいコースも盛りだくさんです。多摩川サイクリングロードを、住んでいる羽村から羽田空港まで往復110km。自転車をしていない人からみれば「100km」って、とても長く感じるかもしれませんが、意外とすぐに走れるようになります……まあ疲れますが。

今は、コロナ禍でレースや輪行(自転車を袋へ入れて電車で移動)は躊躇されますが、来年はぜひサイクルイベントやレースに参加したいと思います。それまでには、世の中が落ち着いてくれることを祈ります。



編集後記

今年は、観測史上最も早い梅雨明けとなり、6月から猛暑に見舞われました。早く夏が来たことで秋の訪れも早いかと思いきや、まだまだ暑い日が続いております。いったい日本の四季はどうなってしまったのでしょうか?これでは、二季と言っても過言ではないような気がします。それでも夏は結構好きです。色々なレジャーを楽しむのもよし、甲子園を観ながらわが子のことのように応援するもよし、あっ、一番は冷え冷えの麦から作った液体をゴクっ!かな?

皆さま、熱中症には十分お気を付けください。(Y)

編集後記

今年は、観測史上最も早い梅雨明けとなり、6月から猛暑に見舞われました。早く夏が来たことで秋の訪れも早いかと思いきや、まだまだ暑い日が続いております。いったい日本の四季はどうなってしまったのでしょうか?これでは、二季と言っても過言ではないような気がします。それでも夏は結構好きです。色々なレジャーを楽しむのもよし、甲子園を観ながらわが子のことのように応援するもよし、あっ、一番は冷え冷えの麦から作った液体をゴクっ!かな?

皆さま、熱中症には十分お気を付けください。(Y)



東大和療育センターホームページ

東大和療育センター

検索

そよ風 第107号

編集
発行日
発行

院内報そよ風編集委員会
令和4年8月15日
東京都立東大和療育センター
東京都東大和市桜が丘3-44-10
Tel 042-567-0222